



JASDAQ

平成 28 年 7 月 22 日

各 位

本社所在地 京都市下京区中堂寺粟田町 91  
会社名 オプテックス・エフエー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小國 勇  
(コード 番号 6661 JASDAQ )  
問合せ先 取締役 管理部門統括  
坂口 誠邦  
(TEL 075-325-2930 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 2 月 12 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,900	100	100	60	11 円 98 銭
今回修正予想 (B)	2,908	252	160	114	22 円 74 銭
増 減 額 (B-A)	8	152	60	54	—
増 減 率 (%)	0.3	152.0	60.0	90.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	2,744	104	121	70	14 円 05 銭

#### 2. 修正の理由

##### 【第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値の修正】

売上高については、汎用機器が主として欧州をはじめ海外向けに鈍化いたしました。国内において LED 照明、画像センサ、変位計といったアプリケーション機器が主として有機 EL、太陽光パネル、半導体、二次電池、電子部品業界向けに好調に推移し、中国においてもスマートフォン、太陽光パネル業界向けに変位計等のアプリケーション機器が伸長したことにより、ほぼ予想値通りとなる見込みです。営業利益については、第 2 四半期累計期間にて計上を予定していた新製品に係る開発費が第 3 四半期以降となること及び利益率の高い LED 照明、変位計等のアプリケーション機器の売上が伸長したことにより前回予想を 152% 上回る 252 百万円となる見込みです。また、経常利益においては、円高による為替差損及び有価証券の評価損等の営業外費用の発生により前回予想を 60% 上回る 160 百万円となる見込みです。

【通期の連結業績予想数値について】

売上高につきましては、第3四半期以降、海外においては英国のEU離脱を契機とした欧州経済の先行き不透明感に加え、国内における円高基調の高止まりによる設備投資の抑制懸念があるものの当社事業については、第2四半期累計期間同様に国内、中国向けをはじめとしてLED照明及び特定用途向けアプリケーション機器は底堅く推移するものと予想され前回の予想値を据え置くものといたします。また、営業利益及び経常利益につきましても、第2四半期累計期間において計上を予定していた新製品に係る開発費が第3四半期以降となる見込みであることなどから現時点では修正せず据え置くものといたします。

ご参考：平成28年2月12日公表の通期連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成28年12月期通期予想	6,100	400	400	240	47円91銭

（注）上記の業績予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上